

平成29年度 地域防災促進事業 報告

日程：平成29年12月10日（日）

場所：鹿児島県防災研修センター（始良市）

参加者：22名（外国人とその家族、留学生：13名 日本人関係者：6名 スタッフ：3名）

霧島市在住の日本人関係者（霧島市各地区の公民館長、国際交流関係者）、外国人（外国人とその家族、留学生）が、鹿児島県防災研修センターで、防災について学ぶ「地域防災促進事業」を行いました。

防災研修センターでは、非常持ち出し用袋に何を入れるか、どのくらいの重さなら持つことができるのかを、一人一人、重さ当てクイズをしながら学習しました。

また、「火山災害コーナー」、「風水害コーナー・土砂災害コーナー」、「地震コーナー」や「火災コーナー」を見学し、展示物に触れながら鹿児島で起こる災害や防災について学びました。

非常時には身近にあるもので対応する必要があるため、家庭にあるビニール製のごみ袋を使って防災カップ作りを行いました。参加者の皆さんは、防災についての知識を身に付け、更に防災についての関心を持って頂けたようです。

午後からは、昼食を食べながらの交流会や街歩き等を通してお互い交流をしました。参加者から「地域の防災について考えさせられ大変勉強になった。」「防災研修センターの担当者、蒲生の街歩きのガイドさんとも、分かりやすく丁寧に説明していただいた。」「日本の方と交流でき本当に嬉しい。」との感想も聞かれました。

今回は、鹿児島県防災研修センター、霧島市役所（霧島市国際交流協会）、第一工業大学、始良市役所、始良市観光ボランティアガイド会の皆様にご協力いただき実施することができました。

本当にありがとうございました。



非常用持ち出し用袋 重さ当てクイズ



シートを使っでの防寒対策



火山災害コーナーの説明



地震コーナーの説明



防災クイズ



消火器の使用方法



ごみ袋を使った防災カップ作り



笑顔で集合写真!!



古民家カフェでの昼食・交流会



蒲生武家屋敷郡での 街歩き



日本一の巨樹 蒲生の大クス



龍門滝の前で